

学校訪問シリーズ 51

大分市立東植田小学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「確かな学力と豊かな心を身につけた、健康でたくましい子どもの育成」を達成するため、1学期終了後には、低中高学年部において、育成をめざす資質・能力の3本柱に沿って子どもの実態について分析し、目指す子ども像やそのためにどのような力をつけるべきかを明確にしたそうです。

そのため、4年生は掃除時間以外もボランティアで掃除を行ったり、全校の取組である「いいねコール」の目的が明確になったりしたそうです。

このように、重点的取組や取組指標の上位目標（どんな力をつけるのか）を確認することで、職員のベクトルも揃い、学校経営への参画意識も高まっていると感じました。

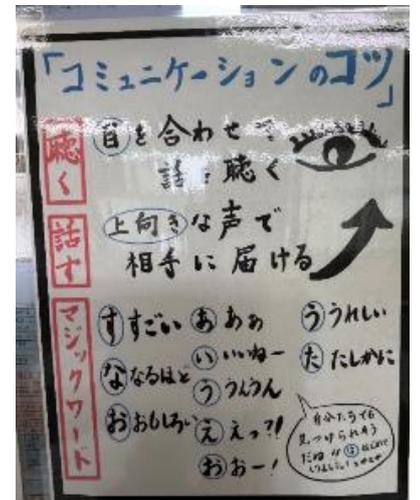


授業から学ぶ

参観した道徳の授業では、子ども達のそれぞれの思いを素直に発言する姿が印象的でした。今後とも、子ども達が安心できる学級経営を期待します。

「ねらい」は、「学習の中心的内容」「学習活動」「道徳性の諸様相(道徳的判断力, 道徳的心情, 道徳的实践意欲と態度)」の3つの構造を今後とも意識されると良いと思います。

なお、評価については、道徳性につながっていくような学習状況がみられたかどうかを把握するため、「学習活動」に着眼して明記してみると、校内研究にもつながると思われました。



NO.326 2022年10月 大分市立東植田小学校

自ら学ぶ

今日の「めあて」を確認する。
自分の思いを書いてみる。
みんなと共に学ぶために。



NO.327 2022年10月 大分市立東植田小学校

共感的に聴く

「私と同じだね」「それもあるよね」「気がつかなかった」・・・
否定しないから学びが深まる。



NO.325 2022年10月 大分市立東植田小学校

伸び合う空気

挙手をする人や、友達の考えを聴いてくれる人が増えると、
学びの空気が教室に広がる。